

令和5年度

学校経営の基本構想

すべては
西野の
子ども
のために

いのちを根底から支え育む土壌となろう

令和5年4月1日

京都市立西野小学校

令和5年度「学校教育の重点」

京都市の目指す子ども像と3つの姿

『伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども』

- 1 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる
- 2 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
- 3 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

全教職員で進める学校園づくり 5つの柱

『いのち』 ～子どもの命を守り切る～

『よりそい』 ～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～

『つとめ』 ～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～

『ひろがり』 ～カリキュラム・マネジメントの視点をもって

社会に開かれた教育課程を実現する～

『つながり』 ～校種間連携・接続により子どもを支える～

「生きる力」を育む15の取組

～自ら学び、考え、可能性を発揮し、よりよい社会の創り手となる力の育成に向けて～

知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）を一体的に育むための取組

- 1 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
- 2 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
- 3 探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現
- 4 グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- 5 LD等支援の必要な子どもの学力向上
- 6 道德教育の充実
- 7 伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- 8 規範意識の育成
- 9 多様性を理解する姿勢の涵養
- 10 支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり
- 11 運動やスポーツの実践と体力の向上
- 12 保健教育の充実
- 13 飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- 14 安全教育の充実
- 15 食に関する指導の推進

【小・中・小中学校において重視する視点】

- 1 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- 2 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- 3 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

【学校教育目標】

自ら学ぶ力と 豊かな人間性を持ち 社会にはばたく西野の子

- 1 自ら学ぶ力・・・主体性「自ら学ぶ力」※1
- 2 豊かな人間性・・・社会性「自らを律する力」※2
- 3 社会にはばたく・・・社会的、職業的自立の基礎となる力

★すべての教育活動を通じて、学力の基礎・基本、人としての基礎・基本の確実な定着を図り、子どもの個性と可能性を引き出し、中学校卒業時に社会で通用する力を育成する。

○小・中学校期における「自ら学ぶ力」※1

学ぶことに興味や関心を持ち、自己の進路や将来の生き方と関連付けながら目標実現への見通しをもって粘り強く取り組むとともに、自己の学習活動を振り返り、自らの学びをよりよい方向に調整し、他者とも協働できる力

○小・中学校期における「自ら律する力」※2

地域・社会との関わりの中で、他者への思いやりや寛容、人と人との絆の大切さを実感し他者と協調しつつ、自らの生活や人生、地域・社会をよりよくするため、時と場に応じた正しい判断と行動ができる力

【めざす子ども像】

- 1 自分の考えをもち、表現する子 〈思考力 判断力 表現力〉
- 2 友だちのよさを見つけ、大切にする子 〈共感力 人間関係形成力〉
- 3 自分の役割を果たし、よりよい学校（学級）をつくろうとする子 〈社会参画力〉
- 4 健康・安全に気をつける子 〈自己決定力〉

【めざす学校像】**西野ファミリー（地域・家庭・教職員）の核となり、全ての人が大切にされる学校**

- 子どもが「行きたい」と思う学校 … わかる できる うれしい たのしい
- 保護者が「子どもを通わせたい」と思う学校 … うちの子を大切にしてくれる
- 教職員が「働きたい」と思う学校 … やりがい 楽しさがある
- 地域が「応援したい」と思う学校 … 子どもたちのために一緒に取り組める

【学校運営方針】**すべては西野の子どものために ーいのちを根底から支え育む土壌となろうー**

- 全教職員で、西野小学校という「誰にとっても安全で安心感のもてる温かな居場所」をつくる。
- 『この子1人のおもい』を大切にし、温かい心で寄り添い、熱意あふれる教育活動を進める
- 「西野ファミリー（保護者・地域・教職員）」のつながりと「西野スピリット」を大切にし、みんなでみんなを育てる

いい学校

=

いい教職員

全ては教職員から始まります。自分自身に矢印を向けて。

○**自分自身が**、誰にとっても安全で安心感のもてる温かな居場所となるために

└─▶子ども、保護者、地域の方々、教職員、来校者、業者等全ての人々にとって

- ・分け隔てせず、全ての人を尊重するように努める
- ・自分から声をかけ、挨拶する
- ・誰かの為に、素早く動き丁寧に伝える
- ・・・人権感覚を磨き続ける・・・
- ・・・言葉と挨拶を大切に・・・
- ・・・「おたがいさま」の精神で・・・

どう思われているの？

○誰もが大切にされていると実感できるように

- ・素敵な笑顔があふれる、温かい教職員
- ・声をかけてくれる教職員
- ・認めて褒めてくれる教職員
- ・話をじっくりと聞き、困りを理解してくれる教職員
- ・困った時に、素早く、親身になって動いてくれる教職員
- ・励まして見守り信じて待ってくれる教職員
- ・「ダメなことはダメ」とはっきりと教えてくれる教職員
- ・・・明るく楽しく・・・
- ・・・自己存在感を与える・・・
- ・・・期待の眼差し・・・
- ・・・おもいを大切に・・・
- ・・・いつでも助けてくれる・・・
- ・揺れに粘り強く寄り添い、一緒に考える
- ・・・価値づけを・・・

○子どもを指導するにあたって **自ら主体的に学ぶ子どもを育む**

- ・待ってじっくりと話を聞こう。自分の言葉で話すようにさせよう
- ・やらせるのではなく、問いかけて考えさせ、自己決定できるようにいざなおう
- ・「皆の為に今、自分ができること」を考えるように伝えよう・・・気持ち良く動ける子に・・・
- ・常に人の存在や出会い、関わりを意識できるようにしよう・・・共に生きる 人権教育・・・
- ・体験・経験を取り入れ、選択肢を増やしてあげよう・・・経験こそが財産・・・
- ・振り返り、自己を見つめ直す時間をつくるようにしよう・・・自分なりの工夫を・・・
- ・失敗した時にどうすればいいのかを考えさせよう・・・失敗するのは当たり前・・・

★生活場面・授業場面で三つの機能を意識し、積極的な生徒指導をしましょう。

《ねらい》

- ・自己指導能力の育成

《三つの機能》

- ・自己決定の場を与える
- ・自己存在感を与える
- ・共感的な人間関係を育成

| | |
|-----------------------------|------------------|
| 学校教育目標の具現化に向けた今年度の重点 | ＝西野教育の継承＝ |
|-----------------------------|------------------|

- 校内研究の推進 ＝すべての教育活動を通して＝
 研究主題 「主体的に学びを拓く子の育成」
 ～課題を把握し、必要な情報を読み取る力の向上を目指して～
 つけたい資質・能力
 「自分の考えをもち、表現する力」
- 安全で安心感のもてる温かな居場所づくり
- 基礎基本の学力の定着
- 異学年交流 役割を与える（責任感 達成感） 受け入れ合う（共感的理解）
- GIGA スクール構想の充実
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策